

交番勤務

交番勤務員は、昼夜のパトロール、遺失・拾得物の受理、様々な相談や事件対応、地理案内や各家庭を訪問する巡回連絡等を行い、県民に最も身近な立場で、鳥取県の安全と安心を守っています。

交番勤務員的一天(例)

- 8:30 朝会(指示・連絡)
- 9:00 巡回連絡(地域の実情把握等)
- 12:00 休憩
- 13:00 在所勤務(書類作成、地理案内等)
- 14:00 巡回連絡
- 17:00 休憩
- 18:00 警ら(職務質問、パトロール等)
- 20:00 休憩
- 22:30 警ら
- 翌2:30 休憩
- 翌7:00 立番(登校時の見守り等)
- 翌8:30 勤務時間終了



警察署地域課(交番)
巡査 令和4年採用

私は地元である鳥取県で、家族や小さい頃からお世話になった人を自分の手で守りたいと思い警察官になりました。今では、自分の大切な人だけでなく、県民の皆さんにとって大切な人の安全と安心を守るため、パトロールや巡回連絡等を行っています。



警察署地域課(交番)
巡査 令和5年採用

地域警察官は、県民の皆さんにとって身近な存在だと感じています。事件・事故が発生した際はいち早く現場に向かい、様々な初動対応を行います。見守り活動や犯罪の検挙等を通して、地域の方の安心・安全のよりどころとなるように、警察業務の最前線として身体を張って活動しています。

勤務形態

交番勤務員は、**交替制勤務**と呼ばれる勤務形態で働きます。
(交替制勤務例)

月	火	水	木	金	土	日	月
当番	非番	週休日 又は日勤	当番	非番	週休日	当番	非番

その後の勤務について

交番勤務員として警察官の仕事の基本を学んだ後、各自の適性や能力、本人の希望などにより各部門(地域、生活安全、刑事、警備、交通、警務)に進むことになります。



職員からのメッセージは
鳥取県警察HPに掲載中!

Next P.08
各部門紹介



地域警察

- ◇交番・駐在所での地域安全活動
- ◇職務質問・パトロール
- ◇事件・事故発生時の初動対応
- ◇110番通報の受理・指令
- ◇鉄道施設内等の犯罪予防活動
- ◇山岳遭難・水難事故の救助活動

■仕事内容

駐在所では主に警らや巡回連絡、事件・事故対応、交通指導取締り等を行っています。交番勤務員と似た仕事内容ですが、大きく違うのは「地域との密着性が高い」ところです。駐在所で勤務している職員の多くが家族も駐在所に住んでおり、地域の行事やイベントに家族で参加し、住民の方と交流しています。住民の方からは「駐在さん」と呼ばれ、地域の相談役になっています。

■仕事のやりがい

警察は県民の皆さんのために活動しています。どの事件・事故も一筋縄ではいかず苦戦することもあります。それを乗り越え解決したときは達成感があります。

また、地域住民の方から感謝の言葉をかけていただくこともあり、そういった時にもこの仕事のやりがいを感じます。



生活安全警察

- ◇犯罪抑止対策
- ◇サイバー犯罪捜査
- ◇ストーカー・DV対策
- ◇少年非行防止、少年事件捜査
- ◇悪質商法などの生活環境・経済事犯の捜査
- ◇風俗営業、銃砲刀剣類、古物営業等許認可事務

■仕事内容・やりがい

盗撮事件、不法投棄事件等の捜査を進め、犯人の取調べや被害者からの聞き取り、防犯カメラ等の精査を行っています。盗撮事件等では、犯人が常習的に行っている場合が多く、気づかないうちに被害に遭われていた方が多くいます。また、被害者は女性や子どもが多く、話を聞き終わった後に「女性警察官に話を聞いてもらえてよかった。ありがとう。」と言われた時はとても嬉しく、やりがいを感じました。

■警察官を志望した理由

私は誰かの役に立ちたいという気持ちで警察官になりました。仕事をしていく中で、一人一人の人生を大きく変えることができます。逮捕するとなれば、被疑者の今後の人生が大きく変わります。また、被害者にとっては、一度被害に遭えば人生の中で決して忘れることのできないくらい記憶が残ります。被害者の無念を晴らすため、被害者に寄り添い、丁寧に対応していくことを心がけています。



警察署生活安全課 巡査 令和3年採用



警察本部機動隊
巡査長 令和3年採用

警 備警察

- ◇テロ・ゲリラ事件等への対策・取締り
- ◇要人の警衛・警護 ◇密入国事件、不法滞在者の取締り
- ◇災害発生時の被災者救助や避難誘導
- ◇祭典・イベント等における雑踏警備、デモ警備

■仕事内容

機動隊は大規模自然災害への対応や、過酷な救出救助現場で活動を行う専門部隊です。専門的な技術が必要とする水難事故や災害現場での救出救助等に対応するための訓練のほか、有事の際に迅速に対応できるよう、装備品や資機材の点検・整備等を実施しています。

また、柔道特別訓練員として同僚と切磋琢磨しながら日々稽古に励んでいます。

機動隊では集団警備力を生かし、治安の最前線に立った活動を行っているため、部隊として任務を達成した時には大きなやりがいを感じます。

■警察官を志望した理由

幼い頃から柔道を続けており、そこで培った体力、精神力を生かし、生まれ育った鳥取県でお世話になった地域の人たちの生活を守る仕事がしたいと考え警察官を志望しました。



刑 事警察

- ◇殺人、強盗などの凶悪事件捜査 ◇窃盗事件捜査
- ◇鑑識活動 ◇汚職や詐欺、選挙違反などの知能犯事件捜査
- ◇暴力団・外国人犯罪組織による事件の捜査
- ◇DNA型鑑定などの科学捜査

■仕事内容

窃盗、暴行、詐欺、立てこもり、誘拐等の様々な事件において初動捜査を行う機動捜査隊で勤務しており、現場鑑識や張り込み、取調べ等を行い被疑者を検挙しています。

皆さんが安心して暮らせるよう、犯罪者の検挙や犯罪抑止に向けた取組を行うことで、鳥取県の治安維持に貢献できたと感じます。

■鳥取県警察の魅力

人口が少ないため、県民の方々に対して親身に寄り添いながら、治安維持に貢献できることが魅力です。人口が少なくても、事件・事故は必ず起こります。その際に、警察官として迅速に対応することで、県民の方の暮らしを守っていると強く感じることができます。



警察署機動捜査隊
巡査 平成31年採用



警察署交通第一課
巡査長 令和4年採用

交 通 警 察

- ◇交通事故抑止対策・交通安全教育
- ◇交通規制・交通管制
- ◇交通事故・事件捜査
- ◇運転免許業務
- ◇交通指導取締り
- ◇交通事故分析

■仕事内容・やりがい

交通事故で命を落とす方が0となることを目指して、保育園、学校、企業などを訪問し、交通安全講習等を通して、交通ルールを守ることの大切さを伝えています。

講習や広報活動を行うことで、地域住民の方の交通安全に対する意識が向上することにやりがいを感じています。

■休日の過ごし方

休日は、趣味であるランニングを行っています。ランニングをすることで、体力維持ができるだけでなく、精神面においても、粘り強さや持続力を鍛えられていると感じています。



警 務 警 察

- ◇職員の採用、人事管理
- ◇被害者支援
- ◇予算管理
- ◇福利厚生、健康管理
- ◇装備品調達
- ◇情報管理業務
- ◇各種教養・訓練
- ◇留置管理業務
- ◇広報

■仕事内容

留置管理課の仕事は、被留置者に対して食事や入浴等の適切な処遇を行うことです。被留置者が拘置所等への移送や釈放までの間、課員と連携しながら、被留置者の逃走等の防止に努めています。

また、逮捕術の特別訓練員として留置管理の業務と並行して訓練を行っています。

■鳥取県警察の魅力

鳥取県警察は、他府県警察に比べて職員の数が少ない分、若手警察官の時から様々な業務に携わることができるという魅力があります。その結果、多くの経験を積むことができ、自分の得意分野を見つけることができます。



警察署留置管理課
巡査 平成31年採用

警察行政職員

- ◇企画立案・実施
- ◇予算管理、経理
- ◇福利厚生、健康管理
- ◇広報活動
- ◇被害者支援
- ◇システム開発・保守
- ◇犯罪・事故データ分析
- ◇道路標識設置・管理
- ◇運転免許証作成・交付
- ◇研究・鑑定業務

警察署会計課

落とし物に関する業務や警察官が捜査等で出張した際にかかる旅費の精算、パトカーや無線機といった警察活動で必要となる物品の管理を行っています。

落とし物の持ち主がわかり返還できた際に、落とされた方が「ずっと探していたものが見つかって本当に良かった」と笑顔で帰られる時にやりがいを感じます。



主事 令和3年採用

警察本部交通規制課

交通情報板やカーナビによる交通情報の提供や渋滞緩和対策、老朽化した信号機の工事や修理の調整等、交通に関する様々な業務を行っています。

警務部門以外にも、交通部門や刑事部門などの様々な分野で警察行政職員が活躍しており、自分の希望や適性に合った、活躍できる仕事がきっと見つかると思います。



主事 平成24年採用



主事 平成27年採用



主事 令和5年採用

運転免許センター

免許申請の窓口対応や視力検査などの適性検査、仮運転免許証の審査、初めて運転免許証を取得される方に対する学科試験、いわゆる一発試験と呼ばれる技能試験など、運転免許に関する様々な業務を行っています。

様々な業務を経験し、幅広い知識を習得できることが警察行政職員の魅力の一つです。それぞれの業務を通して、県民の安全と安心を守るための警察活動に携わっていることを日々実感しています。

警察本部厚生課

職員とその家族の福利厚生に携わる業務を担当しています。生活習慣病の予防対策に関するセミナーの開催や各種検診の助成等、職員の健康の保持増進に取り組んでいます。

また、住宅の取得や子どもの教育等、職員のライフサイクルに応じた資金の貸付業務も行っており、警察組織の根幹を支えることで、県民の皆さんの安心・安全に繋がると感じています。

警察行政職員は、警察官のように犯罪捜査や交通指導取締りに直接従事することはありませんが、警察業務に欠かせない重要な役割を担っており、幅広く多彩な業務を経験することができます。

また、少年警察補導員や科学捜査研究所で勤務する研究員等の専門職に従事する職員も、警察行政職員として採用されます。

警察本部鑑識課

被疑者から採取した指紋資料等をシステムに登録し整理保管するほか、それらの資料に基づいた犯罪経歴証明書の発行事務、行方不明者等のシステム登録及び照合による行方不明者の発見活動等を行っています。

指紋資料等の登録では、誤りがないように注意深く審査する必要があります。また、鳥取県警察だけでなく全国警察の捜査活動等において重要な資料となりますので、重責を感じるとともに警察活動の一翼を担っているというやりがいを感じます。



主事 平成23年採用



主事 令和6年採用

科学捜査研究所 (研究員)

覚醒剤や麻薬、大麻等の乱用薬物や薬毒物の鑑定を行い、押収した粉末や錠剤、血液や尿等に薬毒物が含まれるか分析しています。また、繊維や塗装のされている工業製品、火災現場で焼け残った物の鑑定等も行います。

自分の判断で事件関係者の人生を左右する可能性があるため、非常に責任のある仕事ですが、その分やりがいも感じます。鑑定結果が被疑者の検挙等に繋がり、鳥取県の安心・安全に貢献できると信じ、業務に取り組んでいます。

少年サポートセンター (少年警察補導員)

少年警察補導員は、少年に対し指導を行う警察官と協働しながら、少年のこれからをともに考え伴走していくことのできる仕事です。

非行防止教室等の広報活動のほか、非行少年や被害少年に対して、心理学や教育、福祉等の専門的な知識を用いながら少年の非行防止や立ち直りを目的とした支援を行うなど、少年が今後より良く生きていけるよう少年問題に関する業務に取り組んでいます。



主事 令和6年採用

Q & A ～警察学校の疑問解決!～

Q. 警察学校では、警察行政職員も警察官のように厳しい訓練をしますか？

A. 警察学校では、警察職員として必要な知識や心構えを学びます。

授業内容は、警察官と異なり、座学がほとんどで、柔道、剣道などの術科訓練は行いません。体力に自信がなくても大丈夫です。

Q. 警察行政職員は、どのような部署で勤務しますか？

A. 警察本部や警察署、運転免許センターなどで勤務します。基本的には鳥取県内での勤務ですが、本人の希望や努力により、県庁（知事部局）や国の機関である警察庁（東京都）で勤務するチャンスもあります。

Q. 警察行政職員の仕事の魅力は何ですか？

A. 警察行政職員の業務内容は幅広く多彩で、警察活動に必要な予算に関する業務、警察職員の給与や福利厚生に関する事務など警察活動を支える業務もあれば、警察署の落とし物係や運転免許センターの窓口業務など直接県民の皆さんと接する業務もあります。警察官のサポート役ではなく、警察官と共に鳥取県の安全・安心を守るやりがいのある仕事です。

警察行政職員も、月に数回、
当直勤務(電話受付等)があります。